

様式07 実施報告書

情報通信月間参加行事 実施報告書				
行事ID	主催団体	行事形式(※)	行事名	
C058	総務省関東総合通信局・ 関東情報通信協力会	(5)	令和7年度「電波の日・情報通信月間」 記念講演会	
開催日	開催場所	行事 参加人数	Webサイト・URL	
5月30日	オンライン	215	https://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/e-komfo/2025/0702kk.html	
行事実施概要・アピール等				
<p>関東総合通信局は、関東情報通信協力会との共催により、東京大学大学院 情報学環 教授 越塚 登 氏をお迎えし、令和7年度電波の日・情報通信月間記念講演会『デジタル技術の新しい時代における新しいインフラ「データスペース」：その現状と展望』を開催した。</p> <p>AIとデータによる転換期が訪れるデジタル分野において、新しい信頼性あるインフラとして実装が期待される「データスペース」について、概要、日本における取組及び展望について講演があり、関東情報通信協力会員及び一般参加者215名の方々に聴講いただいた。</p> <p>聴講者からは、「データスペースについてこれまで講演等を拝聴する機会がほぼなかったので、たいへん勉強になるとともに、充実した時間となりました。」「新しいデータの在り方について考えを深めることができました。」といった感想が寄せられ、聴講者にとって大変有意義な機会となったと考える。</p>				
 <p>令和7年度 「電波の日・情報通信月間」 記念講演会</p> <p>5月30日(金) 14:00～15:30 オンライン開催 (Webex)</p> <p>先着 200名 申込期限 5/25 参加費 無料</p> <p>主催：関東総合通信局 関東情報通信協力会</p> <p>デジタル技術の新しい時代における新しいインフラ 「データスペース」：その現状と展望</p> <p>講演内容</p> <p>本講演では、2020年代以降の新しい時代における新しいデジタルインフラとしてのデータスペースの現状と展望を述べる。データスペースは、信頼性あるデータ流通の基盤として注目されており、データ主権・信頼性・相互運用性・平等性などを重視する理念や、連邦型アーキテクチャの技術的特徴がある。歐州GAIA-XやIDSAの事例、日本国内のDATA-EXやワラスコシステム、JMDS (Japan Mobility Data Space) などの実践例を取り上げ、その構想や機能、更に分野を超えたデータ連携の重要性を論じる。また、東京大学が主導する国際テストベッドの取り組みにも触れる。</p> <p>講師紹介</p> <p>東京大学大学院 情報学環 教授 越塚 登</p> <p>1994年 東大院 情報科学専攻 修了、博士（理学）。東工大助手、東大助教授・准教授を経て、2009年より現職。一般社団法人データ社会推進協議会会長、一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム理事長、JEITA Green × Digitalコンソーシアム座長、気象ビジネス推進コンソーシアム会長、デジタル化横展開推進協議会共同代表、など、さまざまな領域の研究と事業推進に携わっている。コンピュータサイエンスを軸に、近年はIoTやデータスペース、スマートシティなどの研究・開発・社会実装に取り組んでいる。</p> 				
 <p>令和7年度「電波の日・情報通信月間」記念講演会</p> <p>デジタル技術の新しい時代における新しいインフラ 「データスペース」：その現状と展望</p> <p>越塚 登 東京大学大学院情報学環</p>				